

ごあいさつ

杉崎 正子

若菜の緑がすがすがしく感じられる頃となりました。

コスモホームの皆様におかれましては大過なくおすごしの由何より喜ばしいことでございます。

さて、私は本年三月末をもって「和敬園」施設長を退任致しました。今日までの皆様の温かいご指導ご鞭撻に心より感謝申し上げます。

私は「松楓会」に勤務し本年で60年となりました。当時を振り返って見ますと、まだ世の中全体が貧しく国民は戦後の復興の為、一生懸命頑張っていた時代でした。

また戦争により親族や財産を失ってしまった高齢者や幼い子ども達が街にあふれていました。

そんな時代昭和32年、私は遠戚にあたる人より、当「松楓会」の話を聞き興味を持ち、又、初代理事長 馬場義幸氏にお目にかかり高齢者福祉に対する深い考えを知ると共に、その考えに共鳴し自分の使命を見出し今日に至りました。

高齢者問題は救済対策からスタートし昭和38年の老人福祉法により大きく変化いたしました。当会も養護老人ホーム「松楓園」を始め、特別養護老人ホーム「和敬園」、昭和58年に同じく「コスモホーム」及び「各種在宅事業」を併設し進展してまいりましたが、本年は「国」において「社会福祉法人制度の改正」の年となりました。

改正の背景には平成12年の「社会福祉基礎構造改革」以来の社会情勢、地域社会の変化があげられています。法人「松楓会」といたしましては、これらの実情や課題に対し丁寧に取り組み、ご利用下さるご利用者・ご家族の皆様及び地域社会の為に役職員一同、一層の努力と貢献をしてみたいと存じますので何卒宜しくご支援ご協力賜りまようお願い申し上げます。

(H 29・4・28 草稿)